

平成 27 年度 第 2 回坂井市地域公共交通会議

開催日時：平成 27 年 12 月 16 日（水）午前 10 時 00 分から午前 11 時 00 分

場 所：坂井市役所 301 会議室

出席者：浅沼会長、坂野委員、渡辺委員、野村委員、森委員、阿古江委員、大原委員、
岡田委員、猪嶋委員、村中委員、山田委員、小林憲委員、野尻委員、小林美委員、
大久保委員、岡永委員、矢部委員、萬道委員、岡部委員

事務局：黒川部長、齊藤課長、東山課長補佐、奈須田主査

1. 開会

委員出席状況・会議成立を報告。

委員交代を報告。

2. 会長あいさつ

浅沼会長あいさつ。

3. 報告事項

(1) コミュニティバスの運行実績について

事務局からコミュニティバス運行実績を報告。

【質疑】

(岡田委員)

基幹ルートで、高校生の通学での利用者が増えているというのは非常に喜ばしいことで、他の協議会等で利用者をどうやって取り込もうかということを探しつつやっているところが多い中、こういう高校生を取り込むような取組みを何か行っているのか。どういう形で増加しているのかわかれば教えていただきたい。

(事務局)

坂井高校の開校で、生徒数そのものが大幅に伸びておりますので、主な要因は坂井高校生の利用者数が増加しているところにあります。ただ、丸岡高校生の利用者数等も伸びておりますので、コミュニティバスが定着してきたことによる伸びも見られます。

(岡田委員)

特にバス通学をすると安全だといったようなPR等をしたわけではなく、定着しつつあることによって高校生が通学に利用するようになったということですね。

(浅沼会長)

坂井高校の開校は平成26年度からでしたでしょうか。

(大原委員)

平成26年度からです。

(事務局)

平成28年度で3学年全てが坂井高校生になり、生徒数840名になる予定です。

(浅沼会長)

伸びが大きい部分は坂井高校の伸びと考えられるということですね。

(岡田委員)

来年、3学年が坂井高校生という形になると、来年も伸びる傾向があると思いますが、その場合に今のコミュニティバスで対応が出来るのかどうかということは事務局としてどのように考えていますか。

(事務局)

対応としては、大原委員とも協議させていただいておりますが、来年3学年840名ということで、大型バス運行の検証もさせていただきました。

大型バスでの検証では通行困難な箇所もありましたので、いろいろな手段を検討しており、現在、同じ時間帯に続けて走る続行便という形を検討しています。

4. 協議事項

(1) 路線バス運行再編について

丸岡線、永平寺東尋坊線の再編について京福バス矢部委員から概要を説明。

【要旨】

- ・丸岡線は、福井市と丸岡を結ぶ生活交通として運行しているが、九頭竜橋、福井大橋、大和田付近での渋滞等道路状況による遅延・定時性低下が深刻化しており、利用者離れが続き赤字も大きくなってきている。来春の福井駅西口バスターミナルの開設に併せて日常利用の利便性確保のための遅延対策と、丸岡城を中心とした観光利用促進を実施したい。
- ・遅延対策として、現在福井駅を起点とした福井－丸岡－福井の循環系統ということで往路の遅延をずっと引きずっているが、福井－丸岡・丸岡－福井の折り返し系統に転換することにより、丸岡での待機時間を利用して往路の遅れを回復する。
- ・観光利用促進として、丸岡城国宝化へ向けた動きもあり観光客が増えてきていることから、丸岡城を中心とした観光利用を喚起するため、丸岡城バス停を新設し（旧丸岡城バス停は名称変更）、現在経由地となっている丸岡城を目的地として設定することにより、バスの行先表示も丸岡城とする。

- ・永平寺東尋坊線は、芦原温泉駅から丸岡を經由し永平寺まで運行しているが、丸岡城バス停設置に伴い新丸岡城バス停に乗り入れるルートに変更し、路線名称を芦原永平寺線に変更する。

【協議・質疑】

(岡田委員)

平成26年11月に活性化再生法が施行され、まちづくりと観光を連携する施策を国として進めています。

観光路線を活性化するのは非常に重要なことであり、福井駅西口バスターミナル開設や北陸新幹線延伸もありますし、丸岡城へ来る観光客も増えることが予想されますので、ぜひ丸岡線をPRして輸送人員が増えるようみなさん知恵を絞っていただきたい。

(猪嶋委員)

京福バスの金津東尋坊線や永平寺東尋坊線では、二日間定額の切符を販売されていると思いますが、丸岡線について、そういったものの導入は検討されていますか。

(矢部委員)

京福バスでは、県外からの観光客向けに東尋坊エリアを二日間で回る1,000円のフリー切符、東尋坊・丸岡永平寺エリアを二日間で回る2,000円のフリー切符の2種類を販売しています。

現在は、金津東尋坊線や永平寺東尋坊線を対象としていますが、来春の福井駅西口バスターミナルの開設により福井駅から丸岡城に来られるお客様も増えることが予想されますので、東尋坊・丸岡永平寺エリアの2,000円フリー切符に丸岡線を入れるかどうかを社内検討中です。

(野尻委員)

芦原温泉から丸岡・永平寺へ行く平日の便は多いが、観光客を優先するならば、日曜祝日も便数を増やしていただきたい。空白の時間が多く、観光客の日程を組むにしても交通の連絡が悪い。

また、JRは1時間に1～2本あり、JR丸岡駅もあるので、JR丸岡駅から丸岡へは通勤通学時間帯だけでなく、観光客が関西や金沢から来た場合に乗れる日中の便を出してもらいたい。

新丸岡城バス停を設けるということで、観光バスが一筆啓上茶屋駐車場を使用できなくなり、丸岡で桜まつりや古城まつりといったイベントをしたときに駐車場がなくなるといったことを考えたら、JR丸岡駅を使っただけ、頻繁に丸岡へバスを出してもらえれば、車を使わなくてもバスで行けるということになります。

(矢部委員)

本数については、永平寺東尋坊線のことかと思いますが、平日については通学の利用がありそれなりの本数がありますが、休日については、10時台から14時台の4往復のみとなっています。

昔は快速で、永平寺から丸岡城を通過して芦原温泉駅へ行くバスもありましたが、平成18年の路線バス再編の時に今の形となっています。

お客様の需要と一緒に本数を増やしていければ一番いいので、今後状況を見て検討していきます。

JR丸岡駅からのアクセスについては、JR丸岡駅から丸岡の中心部を通過して大学病院、松岡駅、永平寺まで抜けていく路線が1日6往復走っていますが、通勤通学をメインに設定しており、日曜祝日は運休になっています。

こちらも永平寺東尋坊線同様、これからお客様の流れを見ながら検討し、生活路線という側面もありますので、行政にも相談していきながらより良いものにしていきたいと思っています。

イベント時の一筆啓上茶屋駐車場については、テントや出店で使用するかと思うので、そういった際には手前のバス停で折返し運行する等して駐車場に乗り入れず、邪魔にならないように対応していく予定です。

(浅沼会長)

資料にもあるように観光協会等の団体とタイアップしてバス利用者の優遇措置を検討ということもあります。

(野尻委員)

竹田のしだれ桜も有名になりまして、夜には綺麗にライトアップされています。

できればJR丸岡駅から丸岡城、竹田とシーズンだけでも何本か走らせてもらえると観光客も増えるかなと思います。

(浅沼会長)

協議事項(1)路線バスの運行再編について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員)

挙手全員。

(浅沼会長)

ありがとうございます。協議事項(1)については承認されました。

(2) コミュニティバス停留所の移設について(事後承認)

春江総合支所停留所について事務局から概要を説明。

【要旨】

- ・春江中コミュニティセンター建替え工事にともない、春江総合支所バス停を春江中コミュニティセンター前から駐車場外の歩道上に一時移設する。

【協議・質疑】

(浅沼会長)

軽微な変更ということで事後承認となります。

承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員)

挙手全員。

(浅沼会長)

ありがとうございます。協議事項(2)についても承認されました。

今日協議・承認していただいた(1)路線バスの運行再編については、今後、県生活バス路線確保対策協議会に諮らせていただきます。

5. その他

春江病院移設に伴うコミュニバス運行ルート変更、JR・えちぜん鉄道ダイヤ改正に伴うコミュニティバス運行時刻の変更について、次回地域公共交通会議にて諮る予定。

6. 閉会